

AIを活用した自治体業務効率化・省力化推進事業

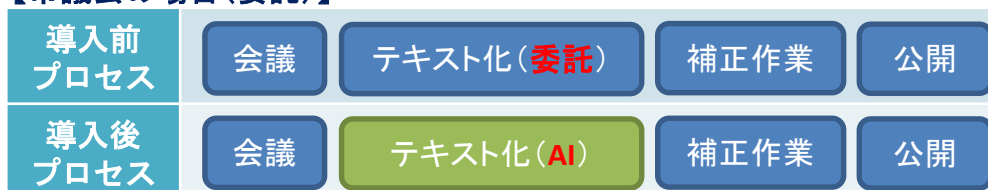
別紙2

提案者	袋井市		
実施地域	静岡県袋井市	分野別モデル	議事録作成AI・AI-OCR
事業概要	地域IoT実装推進ロードマップ分野別モデルであるAIを活用を通じて議事録作成や申請書の入力作業における業務の効率化・省力化を実現し、これまで職員が定量的・定型的な業務に費やしていた時間や業務委託などによって補っていた経費を削減するとともに、定型業務削減することによって対人サービスの拡充や政策立案に係る時間を増やすことで、行政サービスの向上と働き方改革の推進する。		

議事録作成AI

市議会や庁内における定例の会議等における議事録作成をAIの音声認識機能により、音声データをテキストデータへ変換し、議事録作成等の補助を行う。

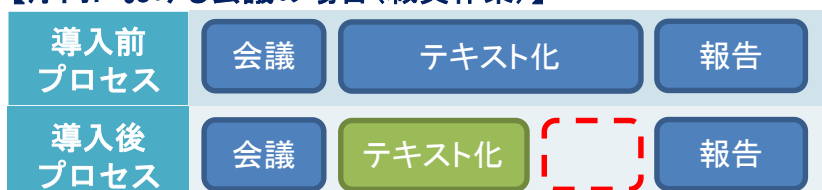
【市議会の場合(委託)】



※委託からAIの活用によるコスト削減(3,211,960円→2,772,000円)

※委託からAIの活用によるテキスト化の時間短縮(約1週間→約1日)

【庁内における会議の場合(職員作業)】



※職員作業からAIの活用による作業時間の縮減

AI-OCR

AI-OCRとRPAを連携させることで、申請書の受理から業務システムへの入力作業を自動化し、事務の効率化を図る。

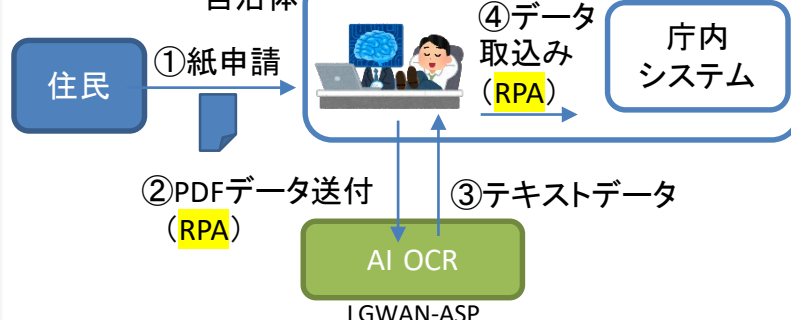
【導入前】

自治体



【導入後】

自治体



※委託からAIの活用によるコスト削減
(2,383,349円→1,320,000円)

※業務委託ではなく、職員が直接行う業務については、作業時間を短縮する(3/5に縮減)